

夏秋野菜の生産（生育）・出荷状況について

（全国農業協同組合連合会）

1. 平成23年産夏秋キャベツ(7月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量※		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
全農群馬 県本部	3,127	100%	180,560	104%	10/上～8/中	3/下～8/下	6～11月	・出荷開始： 高冷地…6/15(前年比2日遅) 準高冷地…6/13(前年比9日遅) ・本格出荷： 高冷地…7/中～8/中(平年並) 準高冷地…7/中(平年比5～7日遅)	・総体出荷量は、各産地、作柄不良だった前年を上回る見込み。
全農長野 県本部	855	101%	39,255	114%	①寒冷地： 2/中～7/上 ②寒地： 3/下～6/中	①寒冷地： 4/下～8/上 ②寒地： 5/上～7/中	①寒冷地： 6/中～10/下 ②寒地： 7/下～10/上	・出荷開始時期：寒冷地は6/中から寒地は7/下からとなる。 ・本格出荷：7/中～。	・総体出荷量は、各産地、作柄不良だった前年を上回る見込み。
ホクレン	588	100%	21,170	112%	①春まき： 4/下～5/中 ②晩春まき： 5/上～6/上 ③初夏まき： 6/上～6/下	①春まき： 5/下～6/上 ②晩春まき： 6/上～7/上 ③初夏まき： 7/上～6/下	①春まき： 7/上～7/下 ②晩春まき： 8/上～9/中 ③初夏まき： 9/中～10/下	・道外出荷は平年より1週間程度遅れ7/上となる見込み。 ・本格出荷：7/下～9/上(概ね平年並み)	・出荷量は前年を上回る見込み。(前年産は高温・多湿の影響から大幅な出荷減となった)
その他	1,102	97%	37,175	131%					
対象県 共販計	5,672	100%	278,160	109%					

※ 確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農群馬：前年比100% ・全農長野：前年比101% ・ホクレン：前年比100%。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農群馬：播種・定植初期、低温・早ばつの影響を受けたものの、4月以降回復基調で推移し、平年並み順調生育。 ・全農長野：入梅以降、比較的冷涼な気候で推移している。品質面では特に問題はない。 ・ホクレン：4～5月の天候不順(低温・降雨・日照不足)により、生育が遅れていたが、6月に入り回復傾向で推移している。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	10月	計
全農群馬県本部	23年見通し ^{※1}	37,193	54,498	54,184	34,685	180,560
	前年比	115%	102%	103%	98%	104%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	105%	103%	103%	101%	103%
全農長野県本部	23年見通し ^{※1}	10,900	9,105	9,470	9,780	39,255
	前年比	111%	115%	119%	113%	114%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	101%	111%	109%	115%	109%
ホクレン	23年見通し ^{※1}	5,173	5,969	5,382	4,646	21,170
	前年比	109%	111%	116%	110%	112%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	99%	97%	92%	102%	97%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	53,266	69,572	69,036	49,111	240,985
	前年比	114%	104%	106%	102%	106%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	104%	104%	103%	104%	103%

※1:確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年~22年の実績より作成。

○コメント

出荷見通し	昨年は、夏から秋にかけての猛暑により、品質低下し、作柄不良となったが、今年は、今後の天候にもよるが、現時点では平年並の出荷量を見込む。
-------	---

2. 平成23年産たまねぎ(7月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積 ^{※1}		出荷量 ^{※2}		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
ホクレン	4,785	99%	125,940	124%	①極早生: 2月 ②早生: 2月 ③中生: 2月 ④晩生: 2月	①極早生: 4/下～5/中 ②早生: 4/下～5/下 ③中生: 4/下～5/下 ④晩生: 4/下～5/下	①極早生: 8月 ②早生: 8/下～11月 ③中生: 11～4月 ④晩生: 11～4月	・①: 作業遅れにより出荷時期が、 後ズレする懸念もあるが、7月以 降の肥大期～倒伏期の天候推 移により変動する可能性あり。 ・②～④: 現在生育ステージはまだ前半 であり、今後の天候推移より変 動が想定される。	・今後の天候推移より変動が想 定される。
JAさが	2,068	103%	25,314	119%	①中生: 9/下 ②晩生: 9/下	①中生: 11/下 ②晩生: 11/下	①中生: 6月～ ②晩生: 6月～	・出荷本格化8月までの期間。	・貯蔵向けの収穫時期である6月 に長期的な雨で収穫ができない 状況が続いた。
全農兵庫 県本部	1,380	96%	28,880	108%	①早生: 9/下 ②中生: 9/下 ③晩生: 9/下	①早生: 11/上～11/中 ②中生: 11/中～12/下 ③晩生: 11/下～12/下	①早生: 5/上～6/上 ②中生: 6/上～7/下 ③晩生: 8/上～3/上	・7月から中生種の出荷最盛期を 迎え、8月お盆ころまで順調な出 荷を見込む。	・5～6月の降雨により、収穫後 の圃場での乾燥が不十分な可 能性があり、病害が懸念される。
その他	2,157	101%	25,268	139%					
対象県 共販計	10,390	100%	205,402	122%					

※1: 当初計画(H22年9月策定)の4月～10月出荷分より作成。

※2: 計画変更(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」のうち、4ヶ月(7～10月)の合計値より作成。

○ コメント

作付面積 (4～10月出荷分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン : 前年比99% ・JAさが : 前年比103%。21・22年産が好単価だったため増加。 ・全農兵庫: 前年比96%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン : 極早生については、定植遅れ(5/上の降雨)の為、移植苗の老化が要因で減収となる懸念がある。 6月10日の降雹により被害を受けた。被害面積については、現在調査中。 ・JAさが : 厳寒期に生育不足が見られたが、収量は平年並～やや下回る。中晩生の収穫時に降雨あったため、適期収穫が出来ない圃場が散見。 ・全農兵庫: 5月の降雨以降、順調な生育となり大玉傾向。2L級の発生率は昨年より高い。(本年6/9:2L36.7%、昨年6/10:19.4%)

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	23年見通し ^{※1}	40	15,100	50,000	60,800	125,940
	前年比	18%	97%	115%	143%	124%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	28%	99%	111%	111%	109%
JAさが	23年見通し ^{※1}	13,399	10,698	1,117	100	25,314
	前年比	114%	124%	148%	135%	119%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	111%	120%	103%	70%	114%
全農兵庫県本部	23年見通し ^{※1}	13,690	12,175	2,085	930	28,880
	前年比	116%	106%	81%	100%	108%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	101%	98%	66%	107%	96%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	27,129	37,973	53,202	61,830	180,134
	前年比	114%	107%	114%	142%	120%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	105%	104%	108%	111%	108%

※1:計画変更(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」のうち、7月～10月出荷分より作成。

※2:20年～22年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	<p>昨年は、4～10月の合計での出荷量は、主産3県において、直近3カ年で最も少なかった。</p> <p>今年は、7月は佐賀、兵庫のシェア大きく、出回り量は前年より多い見込み。</p> <p>8月は、ホクレンが前年を下回る出荷を見込んでいるが、3県計では前年比107%を見込む。</p> <p>9～10月は、ホクレンのシェア高く、現時点では前年、平年より多い出荷量を見込む。</p>
-------	---

3. 平成23年産夏だいこん(7月～9月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し		
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し	
ホクレン	1,430	99%	57,045	111%	①春まき 4/下～5/下 ②初夏まき 6/下～7/中 ③夏まき 7/上～7/下	—	①春まき 6/中～8/下 ②初夏まき 8/中～9/上 ③夏まき 9/上～10/中	・出荷開始時期: 6/中(平年並み)。 ・本格出荷: 8/下～9月(概ね平年並み)	・出荷量は高温・多湿の影響により出荷が激減した昨年を上回る見込み。 ・道外出荷は関東・近畿向けを中心とした出荷見込み。	
全農青森県本部	520	103%	12,210	124%	①春まき 5/下～5/下 ②初夏蒔き 6/上～6/下 ③夏蒔き 7/上～7/下	—	①春まき 7/上～7/下 ②初夏蒔き 8/上～8/下 ③夏蒔き 9/上～9/下	・出荷開始: 7/上(平年並み)。 ・本格出荷: 8/上～下(平年並み)	・面積の増減はなく、少なかった前年を上回る出荷量を見込む。	
全農岐阜県本部	107	100%	5,270	172%	4/中～8/上	—	6/下～10月	・出荷開始: 7/上(平年比1週間遅れ)。 ・本格出荷: 8/上～下(平年並み)。	・面積の増減はなく、少なかった前年を大幅に上回る出荷量を見込む。	
その他	663	100%	12,551	119%						
対象県共販計	2,719	100%	87,076	117%						

※ 確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン: 価格低迷と2年連続の天候不順による減収から、昨年を下回る見込み。 ・全農青森: 4/上、5/上に播種できなかった分が後ずれした。 ・全農岐阜: 前年比100%。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン: 4～5月天候不順だったが、6月に入り晴れの日が多く、気温も平年を上回る日が多くなったことから、生育は回復傾向にある。 ・全農青森: 現時点では、順調な生育。 ・全農岐阜: 播種直後の低温のため、1週間程度の遅れ。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	計
ホクレン	23年見通し ^{※1}	15,695	18,615	22,735	57,045
	前年比	107%	116%	112%	111%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	102%	101%	107%	104%
全農青森県本部	23年見通し ^{※1}	3,260	3,615	5,335	12,210
	前年比	114%	124%	131%	124%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	99%	114%	110%	108%
全農岐阜県本部	23年見通し ^{※1}	1,740	1,880	1,650	5,270
	前年比	167%	174%	174%	172%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	120%	154%	126%	133%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	20,695	24,110	29,720	74,525
	前年比	111%	120%	117%	116%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	103%	106%	108%	106%

※1:確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年～22年の実績より作成。

○ コメント

出荷見通し	・昨年は、高温・多湿の影響により出荷が激減したが、今年は、期間を通じて平年並～やや多めの出荷量を見込む。
-------	--

4. 平成23年産秋にんじん(8月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量※		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
ホクレン	2,263	101%	57,330	120%	①春(晩春)まき 4/下～5/下 ②晩春まき 5/上～5/下 ③初夏まき 6/上～6/下	—	①春(晩春)まき 7/中～8/中 ②晩春まき 8/中～9/下 ③初夏まき 10/上～10/下	・出荷開始:7/中(平年より1週間前後遅れ) ・本格出荷:8/下～10/上	・高温・多湿により歩留が低下し出荷が減少した昨年を上回る見込み。 ・播種が遅れたことから、9/下～10月にかけて出荷が集中する懸念がある。
北海道青果商協	1,586	104%	36,570	111%	同上	—	同上	同上	・昨夏のような猛暑にならなければ、平年以上の出荷量となる見込み。
全農青森県本部	130	108%	2,365	134%	①春蒔き 4/上～5/中 ②夏播き 5/下～6/中	—	①春蒔き 6/下～9/上 ②夏播き 9/中～10/下	・出荷開始:6/下 ・本格出荷:7/中～下	・4/中以降で播種作業が集中したため、7/中以降に出荷量の集中が懸念される。
その他	0	0%	0	0%					
対象県共販計	3,979	102%	96,265	117%					

※ 確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン:前年比101%。 ・北商:前年比104% ・全農青森:近年の価格安定により、作付は増加。前年比108%。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道:4/下～5/中までの天候不順により播種が1～2週間程度遅れた。5/中以降は、播種・生育は比較的順調。 ・全農青森:気温は低い日が続き生育は平年に比べ1週間前後遅れていたが、その後の天候回復により生育は順調。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	8月	9月	10月	計
ホクレン	23年見通し ^{※1}	15,915	20,832	20,583	57,330
	前年比	125%	127%	111%	120%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	112%	105%	108%
北海道青果商協	23年見通し ^{※1}	10,001	13,133	13,436	36,570
	前年比	110%	108%	114%	111%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	104%	126%	114%	115%
全農青森県本部	23年見通し ^{※1}	350	460	1,555	2,365
	前年比	132%	162%	128%	134%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	81%	129%	107%	106%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	26,266	34,425	35,574	96,265
	前年比	119%	119%	113%	117%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	106%	117%	109%	111%

※1:確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年～22年の実績より算出。

○ コメント

出荷見通し	・昨年は、高温・多湿により歩留が低下し出荷が減少したが、今年は、作付面積が増加しており、前年夏のような猛暑にならなければ、前年・過去3ヶ年実績を上回る出荷が見込まれる。
-------	--

5. 平成23年産夏はくさい(7月～9月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
全農長野県 本部	1,405	99%	81,120	99%	①寒冷地 2/下～8/上 ②寒地 3/下～8/上	①寒冷地 3/下～8/下 ②寒地 5/上～8/中	①寒冷地 5/下～11/上 ②寒地 7/上～10/下	・出荷開始:5/下 ・本格出荷:7～9月	・今後気温上昇期に向けては、圃場でのロスがないうちは、順調な出荷量を見込む。
ホクレン	214	99%	6,757	111%	①春まき 4/中～5/上 ②晩春まき 5/中～5/下 ③初夏～夏まき 6/中～7/中	①春まき 5/中～6/上 ②晩春まき 6/中～6/下 ③初夏～夏まき 7/上～8/下	①春まき 7/上～7/下 ②晩春まき 8/上～8/中 ③初夏～夏まき 8/下～10/下	・出荷開始:7/上 ・本格出荷:8～9月	・現時点では、昨年より多い出荷を見込んでいる。(昨年は高温障害等により反収・出荷量が減少した)
全農群馬県 本部	186	99%	3,335	112%	2/下～8/下	3/下～9/上	6/上～11月	・出荷開始:6/上 ・本格出荷:6/中～	・現時点では、過去3ヶ年平均以上の出荷量を見込む。
その他	0	0%	0	0%					
対象県 共販計	1,805	99%	91,212	101%					

※ 確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野:7月の生産抑制、8月の生産安定、9月の充実、との方針で全県的に動いている。 ・ホクレン:近年の価格低迷の影響から減少見込み。 ・全農群馬:前年比99%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野:6月の気象経過がハクサイには良好であったため生育は順調、玉肥大も良好。 ・ホクレン:播種・定植とも概ね平年並みに進んでいる。生育も概ね順調に推移している。 ・全農群馬:低温や干ばつによる初期生育の遅れ(3～5日)は、その後の降雨により回復基調。糖度は比較的良好。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	計
全農長野県本部	23年見通し ^{※1}	23,845	23,585	33,690	81,120
	前年比	97%	102%	99%	99%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	96%	97%	93%	95%
ホクレン	23年見通し ^{※1}	1,180	2,380	3,197	6,757
	前年比	99%	111%	116%	111%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	85%	90%	78%	83%
全農群馬県本部	23年見通し ^{※1}	1,350	895	1,090	3,335
	前年比	117%	117%	102%	112%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	106%	112%	96%	104%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	26,375	26,860	37,977	91,212
	前年比	98%	103%	101%	101%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	96%	97%	92%	94%

※1:確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年～22年の実績より算出。

○ コメント

出荷見通し	昨年は、7月下旬以降は、高温障害等により反収・出荷量が減少したが、今年は、主産3県合計では、ほぼ前年並み、過去3ヶ年平均より少な目の出荷を見込む。
-------	---

6. 平成23年産夏秋レタス(6月～10月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
全農長野県本部	4,390	100%	129,161	104%	①寒冷地 4/上～8/上 ②寒地 3/中～7/中	①寒冷地 4/下～8/下 ②寒地 4/下～8/上	①寒冷地 6/中～10/下 ②寒地 6/下～10/中	・出荷開始: 6/中～ ・本格出荷: 6/下～9月。	・7月までは安定した出荷を見込む。 ・8月以降は、今後の気温・降雨によるところが大きい。
全農群馬県本部	581	101%	17,412	104%	1/下～8/下	3/下～8/下	4/中～11月	・出荷開始: 4/中(平年並み) ・本格出荷: 6/中～(平年並み)	・総体出荷量は前年、過去3カ年平均を上回る見込み。 ・出荷量は少なかった前年を上回る見込み。
全農茨城県本部	530	100%	11,502	118%	8/上～8/中	8/中～9/中	9/下～	・出荷開始: 9/下 ・本格出荷: 10/中以降	・一部を除き概ね8/5～10から播種が始まるため、10月以降まとまった出荷となる見込み。
その他	592	97%	13,108	129%					
対象県共販計	6,093	100%	171,183	107%					

※ 確定計画(H23年5月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野: 結球、非結球ともにほぼ前年並み。 ・全農群馬: 前年並み。 ・全農茨城: 前年並み。近年、夏の高温を受けて早出しの作付を控える傾向にある。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農長野: 適宜降雨があり生育は概ね順調。6月前半は曇天・降雨・低温の日々が続く細菌性の病害も散見されたが、全体としては問題なし。 ・全農群馬: 病虫害少なく、順調な生育。 ・全農茨城: 8月以降の播種。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	6月	7月	8月	9月	10月	計
全農長野県本部	23年見通し ^{※1}	25,932	31,324	30,656	31,235	10,014	129,161
	前年比	103%	101%	103%	106%	116%	104%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	111%	98%	105%	105%	89%	103%
全農群馬県本部	23年見通し ^{※1}	5,250	4,136	3,595	3,330	1,101	17,412
	前年比	100%	103%	102%	107%	135%	104%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	99%	102%	109%	80%	102%
全農茨城県本部	23年見通し ^{※1}	0	0	0	345	11,157	11,502
	前年比	0%	0%	0%	383%	120%	118%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	0%	0%	0%	104%	109%	107%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	31,182	35,460	34,251	34,910	22,272	158,075
	前年比	102%	101%	103%	107%	119%	105%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	110%	98%	104%	105%	97%	103%

※1:確定計画(H23年5月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年～22年の実績より算出。

○ コメント

出荷見通し	昨年は、夏から秋にかけての猛暑により、品質低下し、作柄不良となったが、今年は、7月までは安定した出荷を見込む。8月以降は、今後の気温・降雨によるところが大きい。
-------	--

7. 平成23年産夏秋きゅうり(7月～11月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通した出荷見通し
全農群馬県本部	477	100%	13,578	102%	①露地、雨除け 3/下～5/上 ②抑制 7/中～8/中	①露地、雨除け 4/下～5/下 ②抑制 7/下～8/下	①露地、雨除け 6～10月 ②抑制 9～12月	・6月から出荷開始となっている。 ・本格出荷は、9/下～10/中。	・期間通した出荷量は、少なかつた前年を上回り、平年並みとなる見込み。
全農福島県本部	399	97%	22,101	110%	4/中～下	5/下～6/上	6/下～11/上	・10-14日遅れており、出荷開始は、6/下。 ・本格出荷は、7/下～8/上。	・現状の生育をみると平年並みに追いつくことが予想される。
全農埼玉県本部	195	100%	8,000	100%	①抑制：7/下～ ②晩抑制：8/上～ ③越冬：8/下～	①抑制：8/上～ ②晩抑制：8/下～ ③越冬：9/上～	①抑制：8/下～ ②晩抑制：9/上～ ③越冬：9/下～	播種前の現時点では、出荷開始、本格化ともに平年並みを見込む。	・平年並～やや下回る見込み。
全農岩手県本部	112	97%	11,115	109%	4/上～4/中	5/中～5/下	6/末～	・出荷開始時期：平年比数日遅れ ・本格出荷：7/下～8/下	・出荷数量は前年、平年を上回る見込み。
ホクレン	110	97%	8,408	102%	①促成・半促成 2/上～3/中 ②ハウス早熟 3/中～4/上 ③露地早熟 4/下～5/中 ④ハウス抑制 7/上～7/中	①促成・半促成 3/上～4/下 ②ハウス早熟 5/上～6/上 ③露地早熟 6/上～6/下 ④ハウス抑制 7/下～8/上	①促成・半促成 5/上～10/中 ②ハウス早熟 6/上～10/中 ③露地早熟 7/上～9/下 ④ハウス抑制 8/下～11/中	・出荷開始時期は、概ね平年並み。 ・道内中心の出荷だが、7/下頃より一部道外出荷を開始見込み。	・作付の減少を受け、出荷数量は平年並み～微減を見込む。
その他	1,969	99%	51,032	106%					
対象県共販計	3,262	99%	114,234	106%					

※ 確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・全農群馬：ほぼ前年並みの見通し。 ・全農福島：微減。一部震災の影響から作付が出来ない地区もある。 ・全農埼玉：重油の高騰から「越冬」の作付けの減少が懸念される。 ・全農岩手：高齢化による収穫労力不足等の影響により、前年割れとなっている。 ・ホクレン：近年の価格低迷、需要減により作付面積は減少している。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農群馬：現在の1週間程度の遅れも今後の天候次第では平年並みまで回復する見込み。 ・全農福島：低温、震災等の影響から前半に定植作業が遅れていた。7～10日の遅れているが、現状の生育をみると平年並みに追いつく予想。 ・ホクレン：一部遅延発生。天候不順の影響で播種・定植作業は平年よりやや遅れており、5月の低温により生育も遅れている。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	10月	11月	計
全農群馬県本部	23年見通し ^{※1}	613	402	3,945	5,293	3,325	13,578
	前年比	103%	103%	101%	104%	101%	102%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	98%	114%	101%	97%	101%	100%
全農福島県本部	23年見通し ^{※1}	7,375	7,860	4,905	1,606	355	22,101
	前年比	100%	106%	132%	123%	145%	110%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	99%	103%	106%	101%	107%	102%
全農埼玉県本部	23年見通し ^{※1}	640	33	1,815	3,023	2,489	8,000
	前年比	101%	97%	102%	100%	99%	100%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	91%	134%	99%	90%	102%	96%
全農岩手県本部	23年見通し ^{※1}	3,870	4,667	2,220	293	65	11,115
	前年比	104%	104%	127%	126%	144%	109%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	125%	110%	102%	91%	120%	113%
ホクレン	23年見通し ^{※1}	2,609	2,351	2,201	1,142	105	8,408
	前年比	100%	103%	102%	101%	88%	102%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	98%	97%	94%	94%	87%	96%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	15,107	15,313	15,086	11,357	6,339	63,202
	前年比	101%	105%	113%	105%	102%	106%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	104%	104%	101%	95%	102%	102%

※1:確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年～22年の実績より算出。

○ コメント

出荷見通し	昨年は、夏から秋にかけての猛暑により、品質低下(フケ果、病害果等)が発生したが、今年は、前年比で作付は微減となっているが、出荷数量については、ほぼ平年並みを見込んでいる。
-------	---

8. 平成23年産夏秋トマト(7月～11月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成23年6月現在

	面積		出荷量 [※]		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 トン	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始と本格出荷の時期	期間全体を通じた出荷見通し
ホクレン	434	101%	28,696	105%	①半促成、ハウス 1/下～4/上 ②露地早熟 3/下～4/中 ③ハウス抑制 5/下～6/中	①半促成、ハウス 3/下～6/中 ②露地早熟 5/下～6/中 ③ハウス抑制 7/中～8/上	①半促成、ハウス 6/上～10/下 ②露地早熟 7/下～10/上 ③ハウス抑制 9/中～11/下	・出荷開始:6/上。 ・本格出荷:7～9月	・現段階では、平年並みの出荷量を見込む。
全農岐阜県本部	163	101%	14,500	142%	4月	4/中～6/下	6/上～11月	・出荷開始:6/上(平年並) ・本格出荷時期:7/下～8/中(平年並)	・出荷量は平年をやや上回る見込み。(昨年は酷暑のため平年を大幅に下回った)
全農福島県本部	145	93%	9,918	121%	夏秋(雨除け) 2月～4/上	夏秋(雨除け) 4月～6/上	夏秋(雨除け) 6/中～11月	・本格出荷時期:7/上～中	・震災の影響によって一部地域で出荷出来ない農家あるが、県全体への影響は比較的小さい。
全農茨城県本部	118	92%	11,288	132%	抑制 6/中～	抑制 7/下～	抑制 8～11月	・出荷開始:8月 ・本格出荷時期:9～10月	・出荷量は、猛暑で大幅に少なかった前年を上回る見込み。
熊本県経済連	110	100%	16,358	106%	露地 2/下～4/中	露地 3/上～6/上	露地 6/中～11/下	・出荷開始:6/中(若干遅れ) ・本格出荷時期:7/上～(若干遅れ)。	・7～8月は例年より少なく、また8/上～中は、出荷の谷がある見込み。
その他	1,613	102%	57,767	123%					
対象県 共販計	2,583	101%	138,527	119%					

※ 確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

○ コメント

作付面積	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン:安定した需要が続いていることから増加傾向にある。 ・全農岐阜:生産者数は減少傾向であるものの、1戸当たりの規模拡大により面積を維持している。 ・全農福島:浜通り地区の津波被害による減少あるが、県全体としての影響は限定的。 ・全農茨城:震災の影響(研修生帰国による労働力の減少)により、減少が懸念される。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン:5月の低温・日照不足の影響で1週間前後の生育遅れ。6月以降比較的天候に恵まれ、回復基調。 ・全農岐阜:梅雨入りが例年に比べ早く、日照少なく2～3日の生育遅れが見られる。 ・全農福島:加温・無加温物は震災後の燃料不足や低温の影響により生育遅れたが、5/下より出荷量も回復し、順調な生育となっている。 ・熊本県経済連:5月までの低温・乾燥、梅雨の天候(曇天・雨天・日照不足)により、根の発育はもちろんのこと、生育も悪い傾向にある。

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	7月	8月	9月	10月	11月	計
ホクレン	23年見通し ^{※1}	8,089	10,651	6,132	3,287	537	28,696
	前年比	100%	103%	110%	117%	102%	105%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	107%	84%	94%	69%	99%
全農岐阜県本部	23年見通し ^{※1}	1,930	6,120	4,000	2,030	420	14,500
	前年比	108%	126%	155%	230%	467%	142%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	108%	119%	120%	126%	117%	119%
全農福島県本部	23年見通し ^{※1}	2,805	3,647	1,955	1,069	442	9,918
	前年比	105%	115%	142%	138%	224%	121%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	98%	109%	105%	95%	138%	104%
全農茨城県本部	23年見通し ^{※1}	1,334	722	4,233	3,567	1,432	11,288
	前年比	101%	121%	145%	136%	132%	132%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	101%	106%	110%	106%	105%	106%
熊本県経済連	23年見通し ^{※1}	1,831	2,187	1,999	3,978	6,363	16,358
	前年比	102%	108%	109%	116%	101%	106%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	85%	103%	115%	126%	104%	107%
計 (上記3県)	23年見通し ^{※1}	15,989	23,327	18,319	13,931	9,194	80,760
	前年比	102%	111%	128%	132%	112%	116%
	3ヶ年平均 ^{※2} 比	102%	110%	101%	109%	103%	105%

※1:確定計画(H23年6月策定)の「対象県共販計」、「対象市場計」より作成。

※2:20年～22年の実績より算出。

○ コメント

出荷見通し	昨年は、猛暑の影響で、出荷量は平年を大幅に下回ったが、今年は、主産5県合計で前年、過去3ヶ年より多い出荷となる見込み。
-------	---